保証書

型番　PSD-38		
シリアルナンバー		
お客様	お名前	
	ご住所	〒 TEL
販売店	販売店名・住所・TEL 担当者名	
保証期間　12ヶ月	お買い上げ年月日	年　月　日

※必要事項をご記入の上、大切に保管してください。

保証規定

1.保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。
万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2.次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
（1）保証書をご提示いただけない場合。
（2）所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（3）故障の原因が取扱い上の不注意による場合。
（4）故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
（5）天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷の場合。
3.お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4.本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5.本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6.本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7.修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8.保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9.保証書は日本国内においてのみ有効です。

切取線

最新の情報はWEBサイトで!!　http://www.sanwa.co.jp/

■サポート情報
■ドライバのダウンロード
■Q&A（よくある質問）
■各種対応表
など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼“ サポート&ダウンロード ”コーナーへ

ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

サンワサプライ株式会社

2010.6現在

岡山サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311　FAX.086-223-5123
東京サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011　FAX.03-5763-0033
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌　TEL.011-611-3450　FAX.011-716-8990
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区榴岡1-6-37宝栄仙台ビル　TEL.022-257-4638　FAX.022-257-4633
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町16-7カジヤマビル　TEL.052-453-2031　FAX.052-453-2033
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45新大阪八千代ビル　TEL.06-6395-5310　FAX.06-6395-5315
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街8-20第2博多相互ビル　TEL.092-471-6721　FAX.092-471-8078

10/06/JMDaT



保証書付

ペーパーシュレッダー 取扱説明書

PSD-38



最初にご確認ください

セット内容

●PSD-38本体 ………………………… 1台
●取扱説明書・保証書(本書) ………… 1部

※万一、足りないものがございましたら、お買い求めの販売店にご連絡してください。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できる様にしておいてください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、様々な表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

警告	内容を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意	内容を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う可能性または財産に損害が発生する可能性がある内容を示しています。
禁止	行ってはいけない「禁止」行為の内容を示しています。
指示	「指示」に従って行っていただく強制の内容を示しています。

警告

幼児、お子様には絶対に触れさせない。
ケガなどの事故につながる恐れがあります。

投入口や排出口に手や指を入れない。
ケガなどの事故につながる恐れがあります。

投入口や排出口に髪の毛、ネックレスなどを近づけない。
引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。

投入口や排出口にネクタイなどの衣類を近づけない。
引き込まれてケガなどの事故につながる恐れがあります。

可燃性スプレー（エアダスター等）は使用しない。
機械内部やダストボックスにガスが残留し、引火・爆発の恐れがあります。

投入口や排出口をのぞきこまない。
細断クズが飛び散り、ケガなどの事故につながる恐れがあります。

細断物を持ったまま細断しない。
細断物と一緒に引き込まれ、ケガなどの事故につながる恐れがあります。

分解・修理・改造は絶対にしない。
火災や感電の原因となります。修理は販売店または弊社営業所にご依頼ください。

高い場所や不安定な場所には設置しない。
転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。

本体の上に乗ったり、腰掛けたりしない。
転倒して、故障やケガなどの事故につながる恐れがあります。

表示された電源・電圧（100V）以外で使用しない。
火災や感電の原因となります。

高温になる場所や湿気、ほこりが多い場所に設置しない。
火災や感電の原因となります。

異常な状態（発煙・異臭など）のまま使用しない。
火災や感電の原因となります。電源を切り、電源プラグを抜いてから、販売店または弊社営業所にご相談ください。

調理台や加湿器の近くなど、油煙や湿気が多い場所に設置しない。また、水をかけない。
火災や感電の原因となります。

警告

本体が転倒、落下などにより破損した場合は使用を中止する。
火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。

異物（金属・水など）が入った場合は電源を切り、電源プラグを抜く。
火災や感電の原因となります。販売店または弊社営業所にご相談ください。

電源コード・プラグが破損するようなことはしない。
- 電源コードの上にものを乗せない。
- 加工したり、傷つけたりしない。
- 無理に曲げたり、ねじったりしない。
- 無理に引っ張らない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 水に濡らさない。

火災や感電の原因となります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。
火災や感電の原因となります。

電源プラグを抜く時は電源コードを引っ張らない。
ショートして火災や感電の原因となります。

電源スイッチを中途半端な位置で止めない。
火災や感電の原因となります。

注意

ぬれた手で電源プラグにさわらない。
感電やけがの原因となります。

長時間使用しない時は、電源プラグを抜く。
漏電や火災の原因となります。

お手入れ・点検の際や細断クズの廃棄時は、電源プラグを抜く。
感電やけがの原因となります。

移動させる際は、電源プラグを抜く。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因となります。

本体の上にものを置かない。
倒れたり、落下してけがの原因となります。また誤作動、故障の原因となります。

直射日光のあたる場所に設置しない。
誤作動、故障の原因となります。

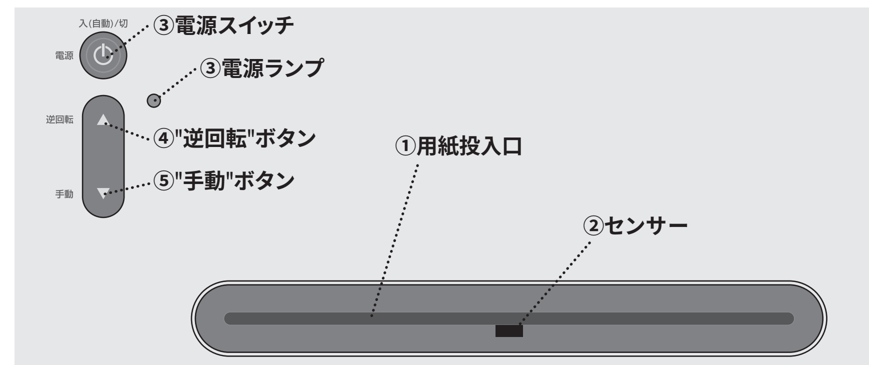
ダストボックスが満杯の状態で逆回転させない。
誤作動、故障の原因となります。

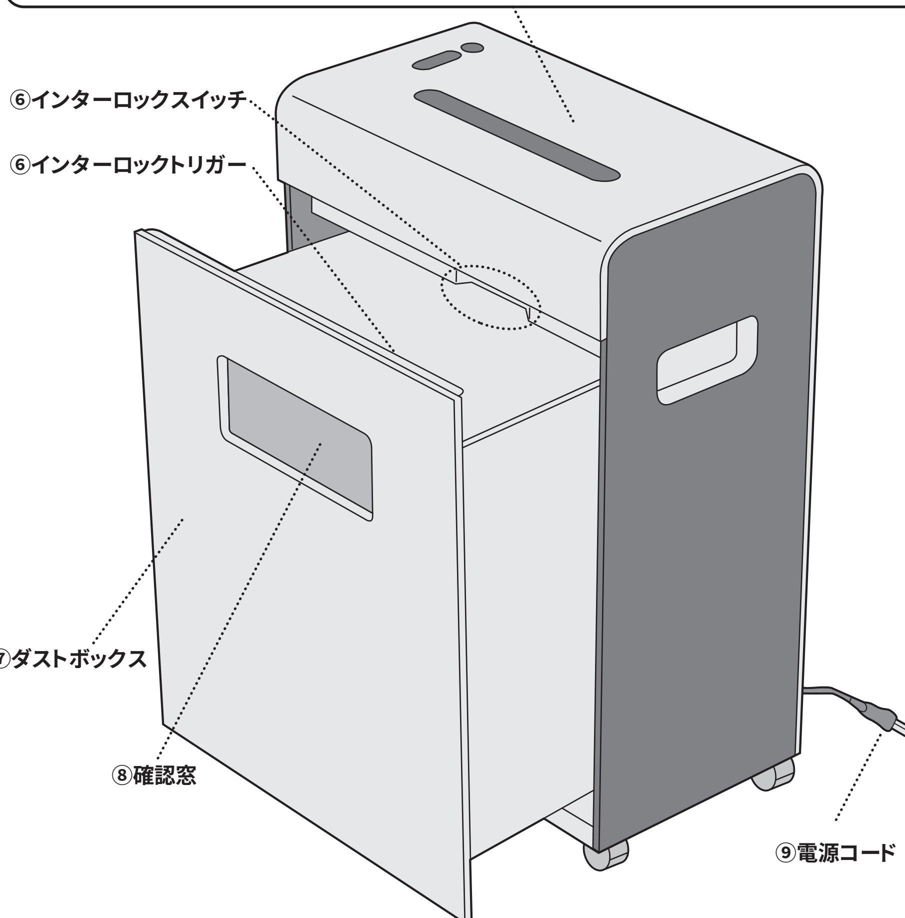
クリップやステープラの針などの金具は必ず取り除く。
誤作動、故障の原因となります。

必ず規定枚数、規定素材、連続運転時間を守る。
誤作動、故障の原因となります。

	用紙
規定枚数	A4用紙6枚まで
規定素材	A4コピー用紙（64g/m²） ※はがき、シール、フィルム、OHPシート ビニール、布などは細断できません。
連続運転時間	7分

各部の名称と働き





① 用紙投入口
細断する紙を投入します。規定の紙以外の投入は絶対に避けてください。

② センサー
電源が入っている時、センサーが投入されたを用紙を感知すると、自動的にカッターが正転し、細断を開始します。センサーの前を通過するように用紙を投入してください。
用紙がセンサーの前を通り過ぎると、自動的に細断を停止します。

③ 電源スイッチ・電源ランプ
電源スイッチを押すと、電源ランプが点灯し、電源が入ります。
使用後は再度電源スイッチを押して電源を切ってください。

④ "逆回転"ボタン
電源が入っている時、"逆回転"ボタンを押すとカッターが正転とは逆方向に作動します。
(紙が詰まった時などに使用します)

⑤ "手動"ボタン
電源が入っている時、"手動"ボタンを押すとカッターが正転作動します。
（センサーを通らない形の紙などを細断する時などに使用します）

⑥ インターロックスイッチ・トリガー
ダストボックスに本体をセットすることにより、本体のインターロックスイッチとダストボックスのインターロックトリガーがかみ合います。ダストボックスが奥までしっかりとセットされていない場合（インターロックスイッチとトリガーがうまくかみ合っていない場合）は、安全のために本機は作動しません。

⑦ ダストボックス
細断クズを収容するダストボックスです。引き出して細断クズを取出します。
細断クズは貯めすぎないようにこまめに取出してください。
細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

⑧ 確認窓
ダストボックス内部の様子を確認することができます。
安定した状態を保つため、ダストボックスの8分目程度で細断クズを捨てることをおすすめします。

⑨ 電源コード
必ず家庭用ＡＣ１００Ｖのコンセントに接続して使用してください。
タコ足配線は避けてください



注意 必ずコンセントに近く、電源プラグを容易に取外しできる場所に本体を設置してください。

ご使用の前に

本機は紙類の細断専用機です。
※クリップなどの金属やDVD・CD、カード、布・ビニール・ポリ袋・フィルムなどは投入しないでください。
また紙類でも、はがき、OHPシート・新聞紙・カーボン紙・感熱紙のほか、ラベル用紙・シールなどの糊の付いたものは投入しないでください。

細　断　能　力

紙詰まりなどによる故障を避けるために、下記の細断枚数を必ず守ってください。

投入口	摘　　要	カットタイプ	規定細断枚数
用紙投入口	A４コピー用紙（64g/m²）	クロスカット（2×7mm）	6枚

※紙質や湿度等により細断枚数は異なります。
※用紙投入口（A４サイズ）より大きな紙を細断する場合は、投入口より小さい幅に折ってから細断を開始してください。（規定枚数を超えないようにしてください。2ツ折/1枚=2枚）


注意
規定の用紙以外を投入しないでください。
■故障やけがをすることがあります。


警告
投入口にネクタイ、衣類、ネックレス、髪の毛などが引き込まれないようにしてください。
■感電やけがをすることがあります。もしも引き込まれそうになった場合は、逆回転させるなどして取除いてください。

ー緊急停止についてー

電源はカッター作動中でも切ることができます。異物が引き込まれた時などの緊急時には電源スイッチを押して電源を切り、動作を停止させてください。

ーオートカットオフ機能ー

本機はモーター保護のためオートカットオフ機能が働いて、連続運転（7分以上）を続けたり、書類がかみこんだ状態で放置すると、自動的に停止します。この機能が働き本機が停止した時は電源プラグを抜き、そのまま放置してください。約40分後には再び細断が可能になります。

ーインターロックスイッチー

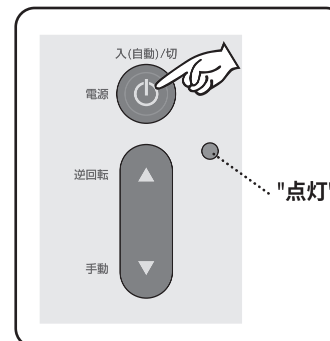
ダストボックスと本体が正しい位置にないと、インターロックスイッチが押されないので、安全のために本機は作動いたしません。ダストボックスは奥までしっかりとセットしてください。

ご使用方法

●自動細断

1. 電源プラグをコンセント（100V）に差し込んでください。

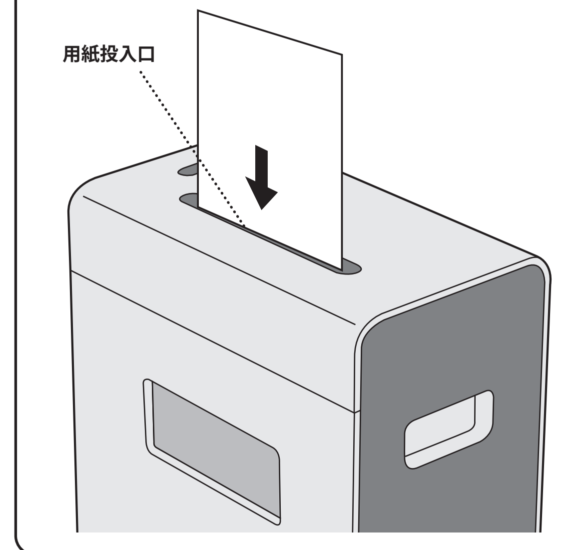
2. 電源スイッチを押してください。電源が入り、電源ランプが点灯します。



※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。ダストボックスは奥までしっかり入れてください。

3. 細断する紙を用紙投入口の中央に入れてください。
センサーの前を通過するとカッターが正転作動し、細断を開始します。
※投入口中央にある**センサーが感知できるように、**まっすぐ投入してください。
投入した紙がセンサーから外れると、細断は止まります。

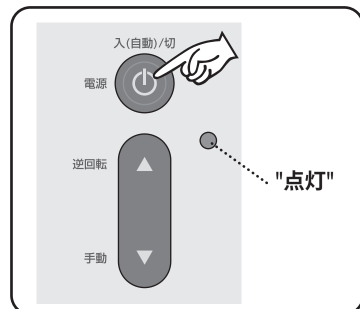
※規定細断枚数を必ず守ってください。



4. 終了後は必ず電源スイッチを押して、**電源ランプを切り、電源プラグを抜いてください。**

●手動細断(センサーを通らない形の紙を細断する場合など)

1. 電源プラグをコンセント（１００V）に差し込んでください。
2. 電源スイッチを押してください。電源が入り、電源ランプが点灯します。



※ダストボックスが正しい位置にないと本機は作動いたしません。ダストボックスは奥までしっかり入れてください。

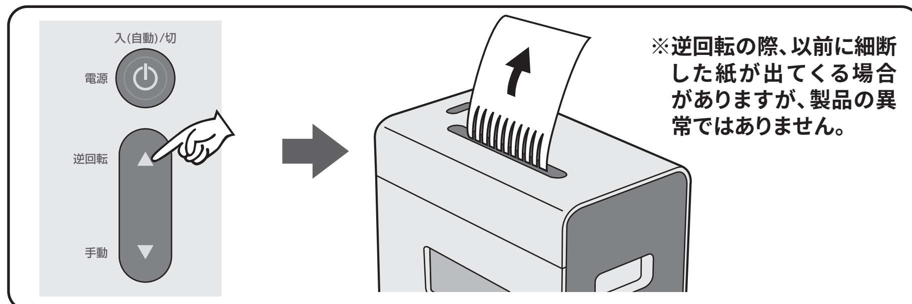
3. 細断する紙を投入口に入れ、"手動"ボタンを押してください。
"手動"ボタンを押している間、カッターが正転作動します。



4. 終了後は必ず電源スイッチを押して、**電源ランプを切り、電源プラグを抜いてください。**

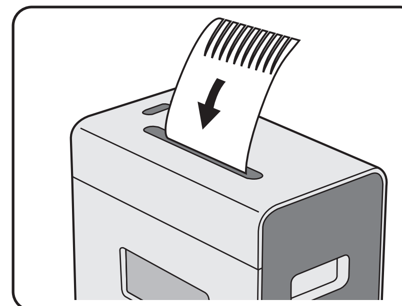
紙詰まりを起こしたとき

1. 規定枚数以上の投入、紙を斜めに投入したことなどで紙詰まりが起きると、
カッターの回転が止まります。
“ 逆回転 ”ボタンを押して、詰まった紙を引き出してください。



※逆回転の際、以前に細断した紙が出てくる場合がありますが、製品の異常ではありません。

2. 紙の量を規定枚数以下に減らして、細断した逆側の方向から用紙投入口にまっすぐに入れてください。



3. 終了後は必ず電源スイッチを押して、**電源ランプを切り、電源プラグを抜いてください。**

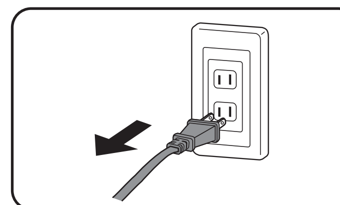


頻繁に正転・逆回転を繰り返さないでください。
紙詰まりを起こしたままの状態で放置しないでください。
■モーターに負担がかかり、故障の原因になります。

細断クズの捨て方

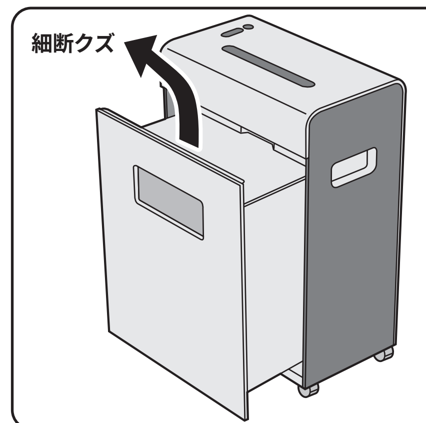
※安定した状態を保つため、ダストボックスの8分目程度でクズを捨てることをおすすめします。

1. 電源ランプが消灯していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜いてください。



※電源プラグを抜かずにクズを捨てると、コードが引っかかったり、本体が落下してけがをしたり、本体の故障の原因となる場合があります。

2. ダストボックスを引き出して、細断クズを取出してください。



※インターロックスイッチ/トリガーを破損しないように丁寧に取り扱ってください。
※細断クズは各地方自治体の法令に従って分別し、廃棄してください。

使用上の注意とお願い

規定以外のものは入れないでください。
※金属や衣類は、カッターに損傷をあたえ、故障の原因となります。

湿った紙やカーボン紙、シールのついた紙は入れないでください。
※カッターに細断クズがからまり、細断性能を低下させます。

ダストボックスに、ビニール袋や紙袋等をかけて使用しないでください。
※本体がしっかりセットされず、正常に動作しない場合があります。

必要以上に逆回転させないでください。
※細断クズが投入口にたまり、故障の原因となります。

使用後は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。

ダストボックスを外した状態では、安全装置により本機は作動いたしません。

必ず規定枚数・連続運転時間を守ってご使用ください。
※モーターを傷めたり、故障の原因となったりします。

	紙
規定枚数	6枚
連続運転時間	7分




警告 分解、修理、改造をしないでください。
■感電やけがをすることがあります。

仕　様

PSD-38

細断物	A4コピー用紙
投入幅	220mm×3.5mm
細断形状	紙:2×7mmクロスカット
細断枚数	A4コピー用紙:6枚
細断速度	100V/50Hz約2.3m/分（6枚細断時）、100V/60Hz:約2.6m/分（6枚細断時）
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	310W
サイズ	W370×D235×H545mm
バケット容量	22ℓ
騒音	約55dB
重量	約12Kg
連続使用時間	7分間（40分休止後再運転可）

お手入れ


注意 お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
■感電やけがをすることがあります。

本体の外側の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。
汚れがひどい時は、薄めた中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。
※お手入れはマシン本体の外樹脂部とダストボックスだけにしてください。
●ガソリン・ベンジン・シンナー・みがき粉などでは、絶対に拭かないでください。
※ひびわれ、変形、変色、故障の原因となります。

おや？故障かな？と思ったら・・・


注意 お手入れの際は、必ず電源を切り、電源プラグを抜いてください。
■感電やけがをすることがあります。

状　況	調べるところ	直し方
動かない	電源プラグが正しくコンセントに入っていますか？	電源プラグを正しくコンセントに入れ直してください。
	電源が入っていますか？	電源スイッチを押して、電源ランプを点灯させてください。
	細断物が投入口中央のセンサーを通過していますか？	センサーが感知できるようにまっすぐに投入してください。
	ダストボックスが正しくセットされていますか？	ダストボックスが正しくセットされていないと安全装置が働き作動しません。奥まできちんとセットしてください。P4、5の「インターロックスイッチ・トリガー」をご参照ください。
	紙詰まりを起こしていませんか？	”逆回転”ボタンを押して、詰まった紙を取除いてください。
細断中に止まったまたは細断できない	長時間の使用により、オートカットオフ機能が働いていませんか？	連続運転時間（7分）をこえて細断したり、紙がかみこんだ状態で放置すると、オートカットオフ機能が働き停止します。電源を切り、電源プラグを抜き、40分ほどそのままおいてください。再び細断を再開できます。
	紙を多く入れすぎていませんか？	規定細断枚数以下にして細断してください。
	投入口の幅より大きな紙を入れていませんか？	投入幅口の幅より小さな紙で細断を行ってください。
	紙が斜めに挿入されていませんか？	まっすぐに挿入してください。
	クリップ・ピンなどをかみ込んでいませんか？	一度逆回転させた後、電源を切り、電源プラグを抜いて、取除いてください。

※点検後、なお異常がある場合は販売店または弊社営業所にご連絡ください。